

平成16年度

## 「アドベンチャースクールin八丈島」事業を実施しました



東京都教育委員会は、小学生から中学生までの異年齢での体験活動をととして、自然や生命の大切さへの理解と人を敬う心や、ものを大切する心を養うことを目的に、八丈島の豊かな自然を活用した6泊7日の自然体験事業「アドベンチャースクールin八丈島」を実施しました。参加者は都内の小中学生96人と青年16人。

あいにく台風10号のためテント泊が短縮になり、島内の公民館に避難するなどプログラムの変更はありましたが、図らずも暴風雨に見舞われた八丈島で大自然の猛威を肌で体験することになりました。八丈富士の登山は中止になったものの、漁業、酪農、黄八丈機織、八丈太鼓などの多彩なプログラムを通して、八丈島の自然、文化、くらし等の社会体験をしました。

プログラム実施はもちろんのこと、避難場所の確保など子どもたちの安全確保のために、八丈町教育委員会をはじめ、現地の皆様には多大なご尽力をいただきました。本当にありがとうございました。



台風の影響で帰りの船が八丈島に到着できなかったため、1日延泊となりましたが、参加者全員が自然の厳しさや、人々の温かさに触れて、ひとまわり大きくなって元気に帰って来れました。

今こそおやじの出番だ!~

### 「おやじ日本全国大会・おやじ東京全都大会」開かれる

6月27日、東京都総合技術教育センターに全国18都道府県から「おやじの会」125団体が一堂に会して、「おやじ日本全国大会・おやじ東京全都大会」(おやじ日本・おやじ東京事務局、東京都教育委員会共催)が開かれました。「おやじ日本」総監督に就任した元阪神タイガース監督の星野仙一氏が基調講演し、特別顧問に就任した狂言師の野村萬斎氏から「おやじの会」に期待する激励のメッセージが届きました。大会では「大人はどうすべきか?」と題するパネルディスカッションや全国各地「おやじの会」の活動紹介、ミニコンサートなど多彩なプログラムの後、合言葉「今こそおやじの出番」を確認し合いました。

「おやじの会」は地域の子どもたちが豊かに育っていくことを願って地域ごと、学区ごとに自主的に作られているグループで、その活動内容は千差万別ですが、父親がそれぞれの「特技」や「持ち味」を出し合って子どもと一緒に遊んで、楽しむという点では、どこの「会」も同じです。

「おやじ(大人)が楽しんでいるから子どもが集まってくる、楽しんでいるから仲間が増える、仲間が増えるからみんなで子どもを育てられる」。各地の「おやじの会」の活動事例からは、そんな「おやじの会」の姿が浮かび上がってきます。都市化や核家族化等によって地域の人間関係が薄くなっている中で、子育ての知恵や経験が伝わりにくくなっています。そんな中で、「地域の子どもたちをみんなで育てる」取組を重ねながら、地域の中にもう一度「つながり」をつくる「おやじの会」の取組が注目されています。

### 「学校・家庭・地域が協働するしくみづくり」を! 第5期東京都生涯学習審議会「中間のまとめ」出される

平成15年5月にスタートした第5期東京都生涯学習審議会は、これまで「子ども・若者の『次代を担う力』を育むための教育施策のあり方」について審議を重ね、7月28日に「中間のまとめ」を発表しました。

「中間のまとめ」では、都教育委員会が行う教育施策の方向を「学校・家庭・地域が協働するしくみづくり」に設定、社会教育行政は、学校教育と連携しながら、家庭教育支援施策、学校教育支援施策、学校外教育施策の三つの枠組みから、施策に取り組むとしています。

また、地域における総合的な教育支援体制を目指す「地域教育プラットフォーム」づくりを提案しています。

この「中間のまとめ」の概要及び全文は東京都教育委員会のホームページで御覧になることができます。御意見・お問い合わせ等ございましたら、東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課(電話03-5320-6853)までお寄せください。

なお、本答申は平成17年1月に出される予定です。

東京都教育委員会ホームページ  
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>